

木の家のメリット・デメリット

木の家はわがままでもいいんです！

趣味を楽しむ憧れの木の家で暮らしを実現するには、どんなところに注意すべきだろうか？
最近のトレンド、施工事情から木の家のメリット・デメリット、実際に建てる際のポイントまで、
いま知っておくべき、木の家の基礎知識、素朴な疑問について専門家にうかがった。

写真（人物）・文／下川冬樹

Q1

最近の木の家の 施工事情を教えてください！

ウィズコロナの時代ということもあり、直近では新築住宅全体として減少傾向にありますが、木の家のニーズに関しては、以前からあまり世の中の景気、動向などに影響されない傾向にあります。その背景には、みなさんにとって木の家がこだわり、憧れの暮らしのひとつとして依然としてあり続けているということではないでしょうか。実際に、憧れの木の家による暮らしを実現できるかどうかは

別にして、普通のニーズとして人の心の中に一定数あると考えています。最近のお客さまはそれぞれに強い想いを持って木の家を建てたいとご相談してくる方が少なくありません。住まい手のライフスタイルや敷地条件など諸事情を考慮しつつ、お客さまのニーズにお応えできるように最大限、工夫をしながら木の家で憧れのライフスタイルを表現していくというのが、最近多い施工の流れでしょうか。

Q2

木の家を建てる人って こだわり派が多い？

はい、木の家を希望されるのは、ライフスタイルにこだわりをお持ちのお客さまが多いですね。例えば、都内の手狭な立地で普通の2階建になるところを、屋外空間を取り込んでコの字型の中庭を設けたりとか。あとは中を吹き抜けにしたり、子供と一緒にレッスンできる防音のピアノ室が欲しい、書斎をイマドキの仕事部屋にしたい……など趣向性の強い方が多いですね。また、木を全面に用

いた自然との親和性の高い家がいいというお客さまがいる一方で、全部に木が見える作りはイヤという方もいらっしゃいます。趣向はお客さまによって千差万別。木の家である前に、住まい手のこだわりをどう表現するかが求められているように感じます。木の家+αといったところでしょうか。最初の段階ではどんな家にしたいかのヒアリングに多くの時間を割くようにしています。

教えてくれる人



木の家づくりネットワーク
山中文彦さん

1955年長野県生まれ。
'91年木の家づくりネットワーク設立。木材産地、家づくり職人とのネットワークを構築し、現在までに100棟以上の木の家の設計、施工管理に従事。国産材を活用した木の家の研究に勤しんでいる。

Q3 木の家のメリットと デメリットを教えてください

基本的に、木の家は柱と梁で作るため、設計の自由度が高いのが最大のメリットです。そのために、お客さまのこだわりのライフスタイルのニーズを反映させることができます。つまり、本特集のテーマである、住まい手のわがままを存分に表現できるのが木の家というわけです。木は断熱性の高い素材なので、木を躯体(骨組み)に用いることによって快適な住空間を生み出すことができます。

また、断熱材をプラスする際にセツトしやすいのもメリットです。木のほか、漆喰や珪藻土など呼吸する素材と組み合わせ使用し、湿度を調節できる効用があります。反対に、デメリットは、設計の自由度が高いゆえに施主のこだわりへの表現に注力しすぎると、耐震性へのリスクが高まってしまうこと。当たり前のことですが、しっかりとした構造設計を確保した上での自由な表現が望ましいですね。

Q4 木の家と木造住宅って 違うんですか?

もちろん、木の家も木造住宅のひとつではありますが、私どもが「木の家」と呼んでいるのは、日本古来からある、木を用いて柱と梁を組み合わせる伝統的な作り方の家のことです。反対に、柱と梁を使わない木造住宅の代表がいわゆる「ツーバイフォー(2×4)」などのパネル工法。サイズ規格の決まったボックスごと組み上げていくため、施工の短縮化、低予算化などが図れますが、木の家の

ような自由度の高い設計はできません。また、パネル工法のためにリフトがむずかしいのもデメリットです。住まい手のわがままを最大限に反映するのならやはり、柱と梁を用いた「木の家」が最善の方法だと思っています。また、少し大きな視点で考えると、材料に日本各地の国産材を用いることで、経済活動の循環や資源のリサイクルを促進する点でも、木の家は有意義な存在と考えます。

Q5 木の家を建てる際の ポイントってありますか?

木の家は設計の自由度が高いゆえに、どんな家でどんな暮らしをしたいのか、設計のポイントが明確にならないと、結果的に住みにくい家になってしまうことがあります。そうならないために、目指すべきライフスタイルの具体的なイメージについて、設計会社と共有することが最も重要です。素材も全部を木にすればよいというわけではなく、ライフスタイルに合った素材の面積比率も大事です。

また、家族の成長に合わせて壁を付けたり取ったりと、時間の経過も考慮したフレキシブルな設計ができるのも木の家の醍醐味です。決して安い買い物ではありませんが、長く使うモノなので、自分のわがままを言わないのは勿体ないと思います。一言アドバイスさせていただきます。奥様が一通りリクエストを出した後に、自分の希望をさりげなく伝えるとスムーズに進むことが多いですよ。



木の家づくりネットワーク

25年以上の豊富な経験と実績をもとに、さまざまな工夫によって施主のこだわりを表現しつつ、コストに優れた木の家を実現。施主向けに木の家ができるプロセスを学べる勉強会なども積極的に展開中。

◎木の家づくりネットワーク ☎03-5301-2828

<https://kinoie.ne.jp/>



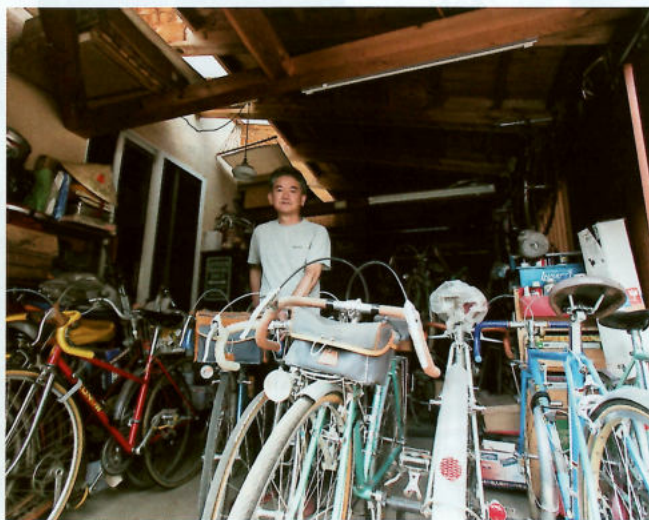
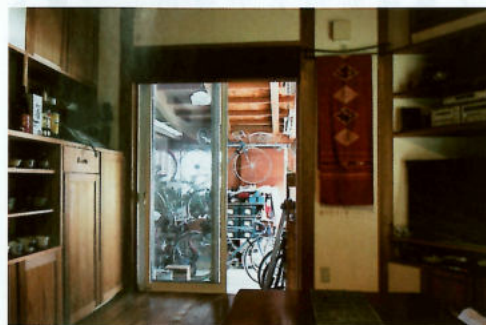
広いローテーブルと陶器とガラスのコレクションの棚が存在感を放つリビング。
テーブル天板は、家を設計した「木の家づくりネットワーク」が調達してくれた。

[東京・小金井市／山崎邸]

木の書斎とガレージのある 多彩な趣味が活きる家

「木の家づくりネットワーク」がつくる家は、木の家に関わるさまざまなプロが手を結び、設計から施工まで多彩なテクニックとアイデアで丁寧につくられる。材料はすべて自然素材。耐震性を確保する構造計算も万全。安心・安全な家だから、趣味悠々の暮らしを楽しめる。

写真／熊谷義久 文／友井健人

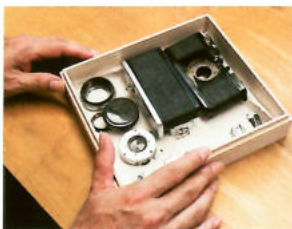


上はインナーガレージ。かつてはシトロエン2CVに替り、現在は自転車が独占。趣味の変化でフレキシブルに使えるのも木造空間の良さだ。リビングとはガラス戸一枚を隔てているだけなので、そこからすぐにインナーガレージに出入りできる。

玄関。小石が表面に覗く洗い出し仕上げの土間と、木の組み合わせで爽やか。



ずっと家に居たくなる! もっと家が楽しくなる!
わがまま木の家



2階には4畳の書斎も。木の机でOLYMPUS PENなど、趣味のクラシックカメラ修理を楽しむ。木の棚はつくり付け。



家全体に天井裏がなく、梁や柱が巧みに組まれ、フルに容積が活かされている。階段の壁は白い和紙が貼られ落ち着いた雰囲気。



ウォールデコにはピクチャーレールを活用。コーヒーカップのコレクション棚もつくり付けた。下は伊万里焼を中心に器が並ぶ棚。美しく飾れて使いやすさにもすぐれる。

2階の廊下。天井裏のない造りで天窓から光が降り注ぐ。格子式の床を通して、一階まで光が届く。



木と漆喰のシンプルな空間にアンティーク家具が映える。この部屋は畳を敷けば和室として使える設計。

**美しさ、強さ、快適さ
すべてに満足な完成度**

趣味人の暮らしには木の家が似合う。山崎さんは、自転車、骨董クラシックカメラと多彩な趣味の持ち主。「クルマも好きで、とくにシトロエン2CVに思い入れが強く、もともとこの家は、2CVをいつも眺められる家」にしたくて、リビングと繋がったインナーガレージをつくったんです。現在は、2CVに代わって、自ら組み立てた自転車10数台がインナーガレージに所狭しと並んでいる。ガレージは柱、梁、壁、すべて木で統一されて、ツールやパーツ類の棚づくりなど自分好みに手を加えやすい。この機能的なガレージもさることながら、玄関、リビング、2階、木と漆喰と和紙を使った温かみのある住まいになっている。この家づくりを手掛けたのは、木の家の設計から施工、メンテナンスまでを一貫して行う団体「木の家づくりネットワーク」。日本の優良な木材産地の事業者と信頼のネットワークを構築しており、施主が希望する木材をリーズナブルに調達もしてくれる。かつては好み

の木で家を建てるのは資産家の道楽で数居の高いイメージがあったが、いまや誰でも好みの木材を吟味して選び、表情豊かで機能的な木の家に住まうことが可能になっている。使われる木材は数種類に及ぶ。リビングの床は褐色を帯びた栗の木。栗は固さがあり、床はどつしりと落ち着く。天窓から光がたつぷり入る2階は杉やヒノキで明るい。和紙、漆喰、珪藻土など自然素材。多彩な木の使い分け。まさに「適材適所」で構築されている。陶器やガラスなど骨董コレクション棚はつくり付け。リビングで寛ぎながら眺め、出し入れもしやすく実用性も高い。このコレクションは、東日本大震災でも物が落ちて壊れる被害がなかったというから驚き。木の家づくりネットワークの家は、構造計算とシミュレーションを重ねて、震度7に耐える耐震性となっている。上質な材料。耐久性と安全性の高い設計。柱や梁を美しく強く組む職人技。良い条件が揃った木の家は、住む人の理想の域になる。

**DATA
山崎邸**

[東京・小金井市]

建築費用: **2960万円**

構造: 木造 / 敷地面積: 185㎡ / 延べ床面積: 131㎡ / 1F: 73㎡ / 2F: 59㎡ / 建築率: 39.4% / 容積率: 70.8% / 完成年: 2008年 / 家族構成: 大人2人、子ども2人